



ここにいるから

Vol. 34

発行 2024. 4
発行者 天草漁協



イルカの基礎知識 胎児線



野生イルカの赤ちゃんを見たことはありますか？春の自然界は植物だけではなく、動物たちにとっても新たな命が生まれる季節です。天草のイルカたちも出産シーズンを迎えます。

イルカは、私たち人間と同じほにゆう類で、肺呼吸をしています。なので、生まれた瞬間から呼吸が必要になり、どんなに泳ぐのが下手くそでも、必ず呼吸のために水面に浮上します。そのときに、写真のような姿を確認することが出来ます。お母さんイルカの隣か、**ちょっと前方でぴょんと飛び出します。**

天草では、5〜8月には比較的簡単に生まれたばかりのイルカに会うことができるので、ぜひ観察してほしいポイントがあります！



赤

赤 ちゃんイルカの身体の縦軸方向に、およそ等間隔の白い線が見えるでしょう？この線のことを「胎児線」（たいじせん）あるいは「胎児しわ」と言います。この線は、生後数か月間だけ見ることが出来ますが、身体の成長とともに薄くなり、やがて消えてしまいます。

これは、まだ赤ちゃんがお母さんのお腹にいたとき（胎児期）に、丸まった姿勢でいたためについた「しわ」の名残りです。たとえば皆さんも、背中を丸める姿勢をしたときには、お腹にしわ（皮ふが寄る）ができるのと同じような感じですよ。そして生後、赤ちゃんは脂肪分の高い母乳をたっぷり飲んで、見た目も丸々としています。そうすると肌に張りが出てきて、やがて線が見えなくなります。赤ちゃんイルカの「胎児線」をぜひ探してみてくださいね！

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業

facebook

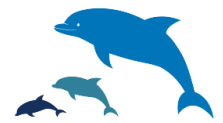


やってるよ！

いよいよ2024年出産シーズン到来！

ミナミハンドウイルカの妊娠期間は約1年間と言われています。天草の場合、はやいと3月頃から新生児がみられるようになり、6〜7月頃にピークを迎えます。春は数が少ないので、発見が難しいですが、梅雨時期頃からあちこちで見つけることができます。

一生懸命泳ぎ、呼吸する姿に癒されることまちがいなし！



Amakusa SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカ調査室



amakusa_dolphin



検索